

新入会員歓迎山行(奥鬼怒温泉郷)

- 日時 :11月20日(土)~21日(日)
場所 :奥日光・鬼怒沼 (加仁湯温泉泊)
参加者 :T蔵、M田、Y崎高、N宮、M藤、A柳、K田、T中美、W田勝
*S井y、I原t、Y崎y、O田h (2021年 入会 4名)
コース :20日 各自宅=鬼怒川温泉駅=夫婦淵—加仁湯温泉(泊)
:21日 加仁湯—鬼怒沼—加仁湯(入浴・昼食)=夫婦淵=鬼怒川温泉駅=各自宅

21年7~11月に6名の新入会員を迎え、運営委員と山行部の有志で歓迎山行を行うこととなり、奥鬼怒温泉郷・加仁湯と鬼怒沼へ行ってきました。



当日は鬼怒川温泉駅に9時半過ぎに集合し、10時過ぎの満員のバスで右へ左へ揺られながら夫婦淵まで2時間弱の旅です。
(バス内、飲食禁止の掲示が恨めしい)

先頭を歩く新入会員の伊原さん。体型がリーダーにそっくりだそうです。
(M嬢に、○部の会発足 といじられました)



夫婦淵から加仁湯温泉までは、鬼怒川左岸のハイキング道を1.5時間歩き2時過ぎに到着しました。加仁湯到着後混浴露天風呂へ・ビールの自販機へと猛ダッシュ、宴会・歓迎会へ突入となりました。

写真上 加仁湯到着 新入会員・櫻井さん(右から2番目)

翌朝6:00、暗い中鬼怒沼に向かって出発し、急登もある中順調に進み8:30鬼怒沼到着。新入会員の皆さん、なかなかの健脚です。

鬼怒沼は冷え込んでいて、池塘には薄氷が張り、木道は霜で白くなっています。天気は予報に反し晴れており、日光白根や燧岳が近くに見えました。1時間ほど滞在し、写真を撮りながら、冗談を言いながらワイワイと下山、宿で汗を流し胃袋を満タンにして、宿の送迎バスで夫婦淵へ向かいました。(途中で猿やニホンカモシカに遭遇)



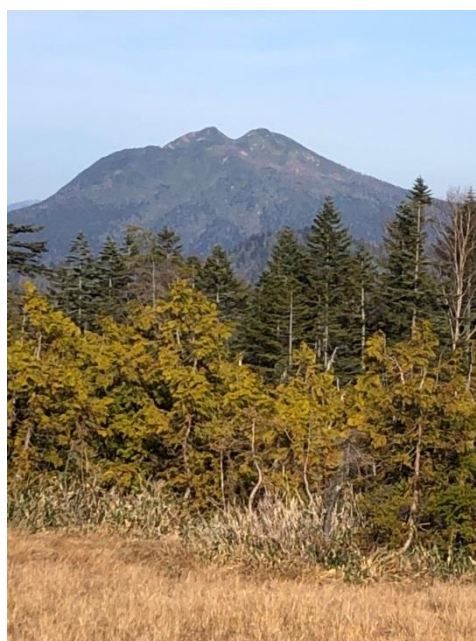
集合写真
後方右から
新入会員の
櫻井さん、
岡田さん
山崎さん
伊原さん

なぜか控えめに
後ろにいます。



写真上 池塘には氷が(奥は鬼怒沼山)

写真右 燧岳が近くに見えます。



最後に新入会員の方に山行の感想を書いていただきました。

氏名 Y崎 s (3班) 21年11月入会

出戻り新人のザキヤマです。

噂では聞いていましたが、歓迎山行という名の飲み会に参加させて頂きました
最高の温泉と、少しの登山。まさに私の目指すところです。

会長はじめ、事務局長、イケイケY崎さん、岩沢の神M田さん、腰痛N宮さん、酒豪A柳さん
オールラウンダーM藤さん、歩き足りないT中さん、卓球部長K田さん、
そして年齢も経歴もバラバラな同期の皆さん、楽しい2日間有難うございました
少しでも早く会になじめるように、ぼちぼち参加していきたいと思います。
宜しく願い致します。

氏名 O田h (3班) 2021年11月入会

11月の定例会の後、入会希望ですとお伝えしてから、あれよあれよという間に、新人会員歓迎山行のお誘いをいただいた。鬼怒沼にも加仁湯温泉にも行ったことがなく、会の皆さんとも知り合いになれるよい機会と思い、二つ返事で参加させていただいた。

以前に夫婦淵の温泉に行ったことがあったが、川沿いの露天風呂は原っぱとなり、建物の跡形もなくなっていたのには驚きであった。東日本大震災の影響で源泉が枯れてしまったとのことで、今更地震の大きさに驚嘆する。

初日は、夫婦淵から鬼怒川に沿って加仁湯までの2時間程度の歩きということで出発した。いきなり階段から始まる。橋を越えて左岸に行くまでのペースが、いつもの私のペースと比べ断然早い。出だしからこのペースで登るのか。さすがは山の会のメンバーの方は鍛えておられるのかなあと思いつつ、ペースを落としてくださいと泣き言も言えず、前の方から離されないように着いていく。事前にいただいた連絡では、アイゼン持参の冬山準備で行った方がよいとのことであったので、ザックも重く、かきたくない汗も吹き出してくる。後で尋ねたところでは、あの出だしはいつもよりかなり早く、あのペースで行くとおそらくバテルということであったので、少し安心した。

加仁湯へ着くと、早速、露天風呂へ。噂の通り、白濁した硫黄温泉で気持ちがいい。部屋に戻ってからのビールが最高にうまい。酒量はそれほど多くはないが、ビールがなければ、山の楽しみは半減するかもしれない。

夕食までは3時間以上もあるので自己紹介などをしつつ、アルコールのお陰もあって和気藹々と楽しい時間を過ごす。やはり、山好きの方とは話が弾む。夕食を終えて、飲み直そうと思ってはいたが、日本シリーズを見ているうちにそのまま爆睡。

二日目は、朝6時ジャストに歩き始めるとの御触れがあり、まだ薄暗い内から鬼怒沼に向けて出発。途中でヒナタオソロシノ滝とオロオソロシノ滝という変わった名前の滝が二つある。アイヌ語でもなさそうだしと思って後で調べてみると、前者が日の当たるところにある恐ろしい音がする滝で、後者は日陰(オロ)にある恐ろしい音がする滝ということであった。湯水時期であるのか水量も少なく、あまり恐ろしそうな音は聞こえなかった。登山道は標高差300mあまり結構な急登が続く、鬼怒沼はそれほど大きな湿原ではないが標高2000mにあり、大小250余りある池塘は昔は一つの火口であったとのこと。沼は薄氷が張っており、親子連れの鹿も見られた。

12時前に加仁湯に戻り、出発までにたっぷり時間があったので、再度温泉に入る。宿泊者なので入浴料は無料であり、夫婦淵までバスで送ってもらう。加仁湯温泉は良心的な宿であり、人気が高いのも納得できる。

鬼怒川温泉駅では、市営バスから電車の乗り継ぎ時間が短いにもかかわらず、しっかりとビールを調達して乗り込む。車内では知り合って間もない新人同士ながら、今度一緒しましょうということになり、会に入ったお陰でこんなにも早く山仲間を作れる機会を与えていただいたことに感謝している。

末筆ながら、これから多くの行事に参加させていただき、いろんな経験を積ませていただくと同時に、会の一員として少しでも貢献させていただければと思っている。

今後ともよろしく願いいたします。

氏名 S井y (2班) 21年11月入会

役員の皆様、新人会員歓迎山行を実施いただきありがとうございました。

秋の鬼怒沼は草紅葉、燧岳、日光白根山等の景色を十分堪能できる山行でした。また、雪降る直前の寒さも心地良かった。鹿やサル、カモシカたちとの遭遇もありました。

加仁湯における、皆さまとの歓談は「松戸山の会」を知る良い機会になりました。たまたま、11月からの新入会員が自分を含めて4名(山崎様は出戻りですね)いたことから、同期会も出来ました。

今まで一人山行が多く、大勢の方々と登るのは久しぶりです。我がままぶりがあったかも知れません。ご容赦下さい。

温泉に浸り、ビールを飲む。今回も山行の楽しみを満喫できました。皆様に感謝です。

I原さんの感想(21年11月入会)

感想文が迷子?となり到着しませんでした。きっと『言葉に出せないほど楽しめた、感動した』との内容だったと思います。

(追記)

伊原さんは植物(樹木)のプロでとっても楽しい方です。